

## 製品名: $\beta$ I チューブリンマウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM84975

研究使用のみ

### 概要

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体  |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | WB,IHC,ICC  |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。             |
| 精製     | アフィニティー精製   |

### 応用

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 50 kDa    |

### 抗原情報

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | beta I Tubulin   |
| 別名           | beta I tubulin; TBB1; TUBB1; Tubulin beta 1; Class VI beta tubulin |
| 遺伝子 ID       | 81027.0  |
| SwissProt ID | Q9H4B7   |
| 免疫原          | $\beta$ I チューブリンの合成ペプチド  |

### 背景

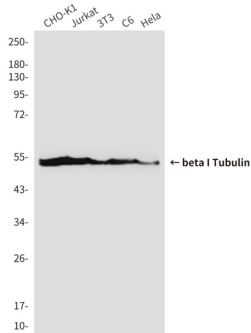
チューブリンは微小管の主成分です。チューブリンは 2 モルの GTP を結合します。1 つは  $\beta$  鎖の交換可能部位、もう 1 つは  $\alpha$  鎖の非

交換性部位です (類似性による)。

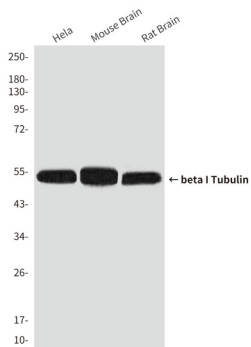
## 研究分野

-

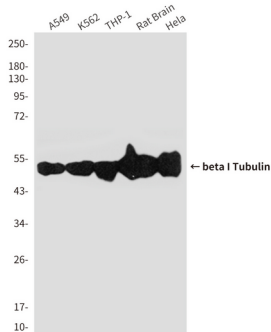
## 画像データ



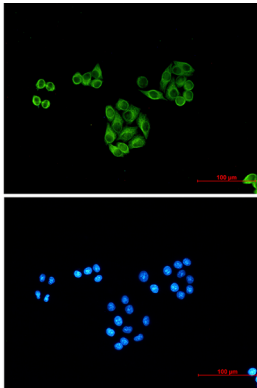
CHO-K1、Jurkat、3T3、C6、HeLa ライセート中の  $\beta$ I チューブリンの  $\beta$ I チューブリン抗体を用いたウェスタンブロット分析



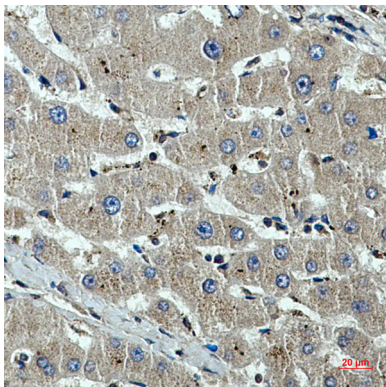
$\beta$ I チューブリン抗体を用いた HeLa、マウス脳組織、ラット脳組織ライセート中の  $\beta$ I チューブリンのウェスタンブロット分析



ベータ I チューブリン抗体を使用した、A549、K562、THP-1、ラット脳、HeLa 溶解物中のベータ I チューブリンのウェスタンブロット分析。



Hela 中の  $\beta$ I チューブリン (緑) の  $\beta$ I チューブリン抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析



$\beta$ I チューブリン抗体を使用した、ヒト肝臓癌におけるパラフィン包埋  $\beta$ I チューブリンの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。